

報道関係者各位

- YCC ヨコハマ創造都市センターより 2019 年度プログラムのお知らせ ■
- ・ YCC キッズワークショップ vol.6 「ウマジン×横浜馬車道」 開催
  - ・ RED ROOM “Bon Voyage!” 開催
  - ・ YCC Temporary 高橋匡太 開催

YCC キッズワークショップ vol.6 「ウマジン×横浜馬車道」 開催



YCC キッズワークショップ第6弾として、馬の頭の形をした「ウマジン」になって街なかを不思議な風景にかえるワークショップを開催します。馬の産地として知られる青森県十和田市生まれの「ウマジン」と、150年の歴史を誇り、日本で初めて馬車が往来した横浜を代表する地のひとつである「横浜馬車道」とのコラボレーション企画です。

「ウマジン」は、横浜出身で、現在は十和田市在住のイラストレーター、安齊将がデザインした「被るアート作品・被るコミュニケーションツール」です。地域や人々を繋ぐ、被るアート作品として、子供から大人まで、広く人々に愛される存在となっています。今回は、馬をモチーフに「ウマジンと馬車道」、「十和田と横浜」が繋がるワークショップを開催し、「ウマジン」になって横浜馬車道にくだします。

お問合せ：YCC ヨコハマ創造都市センター（特定非営利活動法人 YCC）

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1

TEL 045-307-5305 FAX 045-307-5322

MAIL [press@yokohamacc.org](mailto:press@yokohamacc.org) / URL <https://yokohamacc.org>

<開催概要>

日程:2019年4月30日(火・祝日)

時間:13:30-16:30

13:15 YCC集合

13:30-14:30 工作ワークショップ

14:30-15:30 パフォーマンス練習

15:30-16:30 馬車道で町なかパフォーマンス

YCCに戻り解散

会場:YCC ヨコハマ創造都市センター3階及び馬車道商店街

対象:小学新2年生～新5年生

定員:30名

参加費:無料(事前申し込み制、先着順)

主催:YCC ヨコハマ創造都市センター(特定非営利活動法人 YCC)

協力:馬車道商店街協同組合

後援:横浜市教育委員会

詳細は特設サイトにてご確認ください。

特設サイト:<https://yokohamacc.org/kids/v6/>

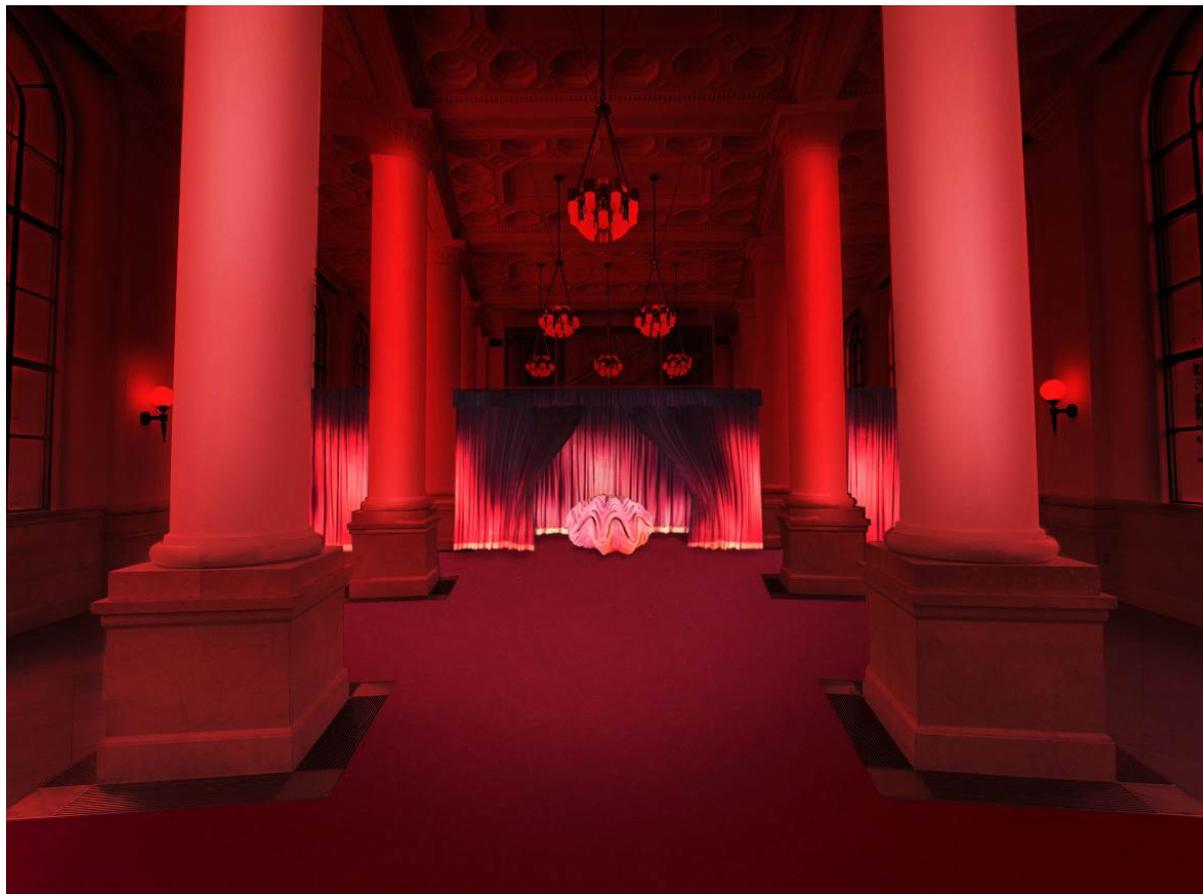
<YCC キッズワークショップとは>



YCC ヨコハマ創造都市センターが企画・実施している子ども向けのアートワークショップシリーズ。毎回1組のアーティストを招き、アーティストが考えたワークショップを開催。アーティストの今抱える問題や感覚と一緒に体験していくプログラム。今回のプログラムは街に広がるワークショップとして新たな展開を試みる。

<https://yokohamacc.org/kids/>

## RED ROOM “Bon Voyage!” 開催



2019年6月28日(金)・29日(土)の2日間、「RED ROOM “Bon Voyage!”」を開催します。過去4回に渡り、夜の横浜に幻のように出現し、開催してまいりました「RED ROOM」は、今回は最終回となります。旅立つ者へ贈られる“Bon Voyage!”という名前を冠した「RED ROOM “Bon Voyage!”」では、1929年建造の石造エントランスに加え、1階ホール全域を使用し、開催時間全体を通して、空間・パフォーマンス・音楽が融合した「ひとつの作品」として展開されます。高橋匡太・川口怜子による光と空間、フランソワ・アルデンテ(前田英一)、チャンジャ・セモリナ、コニョスナッチ・ズボビンスカヤ(砂山典子)、辻本佳、合田有紀等5名のパフォーマーによるパフォーマンス、LaLa(山中透)による音楽、出口雨(松尾恵)によるスクリプトなど、過去最大規模の「RED ROOM “Bon Voyage!”」にご期待ください。

<開催概要>

日時:2019年6月28日(金)・29日(土)19:00~23:00

会場:YCC ヨコハマ創造都市センター 1階

入場チケット:前売り券 3,000円、当日券 3,500円(定員 100名)

※前売りチケット購入は Peatix にて <https://redroom.peatix.com>

※チケットは1日間のみ有効、前売り・当日ともにワンドリンク付き

主催:YCC ヨコハマ創造都市センター(特定非営利活動法人 YCC)

後援:横浜市文化観光局

アートワーク:高橋匡太・川口怜子

パフォーマンス:

- ・マダム・レッド:フランソワ・アルデンテ(前田英一)
- ・レッド・ガール:チャンジャ・セモリナ
- ・ポセイドン:辻本佳
- ・謎の掃除婦:コニョスナッチ・ズボピンスカヤ(砂山典子)
- ・貝柱:合田有紀
- ・船長:キョウタ

時空を旅する音楽家:Lala(山中透)

ドラマトゥルグ:出口雨(松尾恵)

コスチューム:南野詩恵

舞台監督:山本アキヒサ

オペレーション:村上美都

プレジングフラワー:チェ・ジョンファ\*Special Thanks

特設サイト:<https://yokohamacc.org/redroom/>

アーティスト

高橋匡太 Kyota Takahashi

1970年京都生まれ。1995年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。光や映像によるパブリックプロジェクト、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。東京駅100周年記念ライトアップ、京都・二条城、十和田市現代美術館、など大規模な建築物のライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な映像と光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたねプロジェクト」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」、「Glow with City Project」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

川口怜子 Reiko Kawaguchi

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科造形工学専攻修士課程修了。2001年より美術家・高橋匡太のアートワークに参加。現在、同作家の作品制作における空間設計・色彩設計・演出助手など照明に関わる部分を担当。ソロワークとして、「forest; snow」(金津創作の森10周年記念ライトアップ、2006年)、「Emitting Scratch」(徳島LEDアートフェスティバル、2013年)を制作・発表。



Photo: Hajime Kato



Photo: Hajime Kato

パフォーマンス

フランソワ・アルデンテ Franoisr Al Dente

(前田英一/ドラッグ・クイーン、パフォーマンス)

1990年代半ば、姉マルゲリータ・アルデンテとともに“ブルーデーガールズ”でクラブデビュー。後にソロとなる。前衛色の濃いアンダーグラウンドなショーやメタル調のハードなステージングアクトから、いわゆるディーヴァ系の華やかな王道デビューまでそのスキルは幅広く、また、ジェンダーの枠にとらわれず男女両方の性を演じることができる。数少ないマルチパフォーマンス。国内外の現代美術およびコンテンポラリーアートとの結び付きも強く、その方面でも精力的に活動している。



Photo: Hajime Kato

チャンジャ・セモリナ Chanja Semolina

(ドラッグ・クイーン)

2016年デビュー。アルデンテ家のあとを追う身長約2メートルの美女。未知数を最大限に秘めた大型新人(かもしれない)。コンテンポラリーアートの周辺では、アーティストを支える技術者、デザイナーとしても定評がある。

お問合せ: YCC ヨコハマ創造都市センター (特定非営利活動法人 YCC)

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1

TEL 045-307-5305 FAX 045-307-5322

MAIL [press@yokohamacc.org](mailto:press@yokohamacc.org) / URL <https://yokohamacc.org>



Photo: Hajime Kato

コニョスナッチ・ズボピンスカヤ C.Snatch Z.

(砂山典子/パフォーマンス・アーティスト、踊り子)

愛称は、スナッチ。挑発的な女形。国内外の夜間営業の社交場で活動。近年は、バーレスクイベントに頻繁に出没。風刺とユーモアを効かせたショーに定評がある。砂山典子名義では、黒沢美香 & ダンサーズを経て、アーティストグループ「ダムタイプ」のメンバーとして 90年から20年間のパフォーマンス作品を共同制作。ソロワーク代表作にライブ・インスタレーション「むせかえる世界」がある。



Photo: Hajime Kato

辻本佳 Kei Tsujimoto

(振付家、ダンサー、俳優)

1985年生まれ。三重大学生物資源学部卒業。2009年渡仏し、CCNC/BN、Company FATTOUMI LAMOULEUX「Just to dance」に参加。2013年より、柔道をベースとした身体操法についての研究を始める。故郷である紀州熊野にてフィールドワークを行い、採集した自然物、音、写真、身体感覚から、「Field Pray」と題して「#1 どうすれば美しい運動が生まれるのか。」「#2 擬態と遊行」を発表する。2016年やなぎみわ演出「日輪の翼」、あごさとし演出「Pure Nation」に出演し、俳優としての活動を始める。



合田有紀 Yuki Goda

(ダンサー)

2007年～2017年 Monochrome Circus に所属。チョン・ヨンドウ(韓)、ミカエル・モーリッセン(独)など国内外問わず多くの作品に参加。2015年「ゴダ企画」立ち上げ。パフォーマンスアートにまつわる様々なワークショップ、イベント、公演等企画し、「踊り」と「場作り」を並行して行っている。エレクトロ/ネオソウルデュオ BUNGALOW「A little more」MV/監督: Chris Rudz(蘭)、ビデオダンス Botchan Retreat/監督:Nathan Smith,Max Pollard(豪)に出演。2018年京都芸術センターAIRプログラムにより QuartieramHafen(独/ケルン)にて「FEAR」を発表。



Photo: Hajime Kato

音楽・DJ

ララ - 山中透 LaLa - Toru Yamanaka

(DJ、作曲家、レコーディング・エンジニア、プロデューサー)

学生時代、京都を中心に実験音楽系のフィールドで活動し、マルチメディア・パフォーマンスグループ「dumb type」の立ち上げに参加。創世記のメンバーとして、音楽と音響を担当。1989年よりクラブイベント「DIAMONDS ARE FOREVER」をシモーズ深雪、故グローリアスと共にプロデュース。大阪、東京、名古屋、札幌、博多、新潟、仙台、N.Y.、マドリッド、シドニー、パリ、ベルリンなど、世界各地のクラブで開催する。様々な分野の人々とも積極的にコラボレーションを行い、また勢力的にワークショップもこなす。



Photo: Hajime Kato

スクリプト

出口雨 Ame Deguchi

(松尾恵/エッセイスト)

夏目漱石「夢十夜」や内田百閒「東京物語」をこよなく愛している。そこのない空間や失われた時間に興味がある。過去のアーティスト活動から時をおいて、近年、文字によるクリエイションに目覚め、エッセイやパフォーマンス作品の脚本も手がけている。

## <RED ROOM とは>



「RED ROOM」は、数ヶ月に一度だけ、1929年建造のYCC石造エントランス部分に「赤い部屋」が出現し、開催されるラウンジ・イベントです。旧第一銀行横浜支店だった当建物は、終戦後に進駐軍のキャバレーとして使用されていた記録があり、この建物が経験してきた横浜の歴史を感じ、未来へ繋げていくことを目的にスタートしました。「RED ROOM」という名前が表すように、照明やインテリアなど、空間すべてが「赤」をテーマに構成され、ショウタイム、DJプレイ、バーカウターでのドリンク提供など、誰もが気軽に楽しめるラウンジ・イベントとして開催されるものです。尚、当建物は2019年の今年、建造から90周年を迎えます。

<https://yokohamacc.org/redroom/>

## YCC Temporary 高橋匡太 開催



Happy Birthday for Children / 2017 / Photo : Mito Murakami

アートプログラム・シリーズ「YCC Temporary」の第7弾として、アーティストの高橋匡太による展覧会「YCC Temporary 高橋匡太」を2019年11月22日(金)より開催します。高橋匡太は、光や映像を用いたインスタレーション、プロジェクション、パフォーマンス、ワークショップなど幅広い活動を行っており、日本において光をテーマに作品を制作している代表的なアーティストのひとりです。横浜ともゆかりが深く、「スマートイルミネーション横浜」での作品発表やYCCでの「RED ROOM」など、過去、多くの作品を横浜で発表しています。

本展では、横浜に関わりのある方々から、子供の誕生や誕生日という個人の過去を映し出す写真や映像を募集し、時間や場所を超えた個人の思い出を、光を用いて一つの空間に再編します。歴史の選択からこぼれ落ちた個人にとって特別な記録群を相対化し、映し出される人々の営みを眺める場を作る試みです。本作品は、公共空間での作品展示や参加者とともに作るアートプロジェクトを行っている高橋匡太が、昨今の歴史的な状況の変化の中で重心をおいて取り組んでいる作品の一つであり、本展のために新たに再編し制作するものです。

本展開催にあたり、横浜出身・横浜在住など横浜に関わりのある人々から、子供の頃に撮影された「誕生日ケーキのろうそくを吹き消すシーンの写真・映像」と「0歳の時の写真」を募集しています。詳しくは以下のURLをご覧ください。

特設サイト：<https://yokohamacc.org/yct/kyotatakahashi/>

<開催概要>

YCC Temporary 高橋匡太

会期:2019年11月22日(金)~2020年1月12日(日)

※12月1日(施設メンテナンス)および12月28日~1月4日(年末年始)は休場

時間:11:00~18:00(金土祝 19:30 まで)

※入場は閉場の30分前まで

会場:YCC ヨコハマ創造都市センター 3階

入場:500円(高校生以下入場無料)※高校生は要学生証提示

主催:YCC ヨコハマ創造都市センター(特定非営利活動法人 YCC)



本展は、公益財団法人東急財団(旧 公益財団法人五島記念文化財団)より海外研修終了後の成果発表として助成を受け、開催するものです。

<アーティスト>

高橋匡太 Kyota Takahashi



Photo:Mito Murakami

1970年京都生まれ。1995年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。東京駅100周年記念ライトアップ、京都・二条城、十和田市現代美術館、など大規模な建築物のライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な映像と光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたねプロジェクト」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」、「Glow with City Project」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。1995年キリンコンテンポラリーアワード'95最優秀作品賞、2005年京都府美術工芸新鋭選抜展2005最優秀賞、五島記念文化賞美術新人賞、グッドデザインアワード2005(環境デザイン部門)、2008年京都府文化賞奨励賞、2010年京都市芸術新人賞、DSA日本空間デザイン賞2015優秀賞、日本照明学会照明普賞2017、照明デザイン賞2018審査員特別賞、AACAA賞30周年記念美術工芸賞などを受賞。

<YCC Temporary とは>



2017年4月よりスタートしたYCCによる自主企画アートプログラムシリーズ。毎回「一組のアーティスト」に限定した個展形式で現代のアーティストに焦点を当てた美術展覧会等を開催。

<http://yokohamacc.org/yct/>